

かんちゃんのお遍路さん (8)

泉州労山 管和彦

伊予ノ国・善提の道場。故郷の久万高原町と松山市を訪ねる。

私は 2013 年 5/12～6/17、37 日間かけて四国 88 カ所 1200km を、一人で大半野宿しながら休まず歩いてきました。**20 日目**高知県から愛媛県へ入る。40 番。「ゆらりの湯」前の公園東屋泊。**21 日目**愛媛県。道の駅「みま」軒下泊**22 日目**41～43 番。通夜堂「十夜ヶ橋」泊**23 日目**ひたすら歩く。久万高原町「プチホテル」泊**24 日目**45～44 番。歩きとおして松山親戚泊**25 日目**46～51 番。松山親戚泊**20 日目**朝、高知県境を越えてついに愛媛県愛南町へ入る。使わないコッヘル等ゆうパックで家へ返送。雨で湿ったシュラフ・荷物・靴・ザックをコインランドリーで洗濯。必死で歩き須ノ川海岸の「ゆらりの湯」に。日本語達者な外人従業員が「バス停か公園で寝なさい」とアドバイス。温泉前の公園の東屋で寝る。**6/1-21 日目**終日小雨ぱらつく。手洗濯の洗剤が残り服がネチャつくのでコインランドリー洗濯。宇和島じゃこてんを親戚へ送り大出費。宇和島市内を通過。宇和島城や目抜き通り通過。道の駅「みま」軒下で、雨が降りこむためブルーシートをグルグル巻きに被って寝る。9300 円。**6/2-22 日目**宇和 IC 近く明石寺の夫婦杉が固くしめ縄でむすばれている。我もかく仲良くありたいものだ。雨の肱川に浮かぶ大洲城、鶴飼屋形船、瓦の欄干など山水画の如し。小京都の風情。大洲 IC 出口の「十夜ヶ橋」の通夜堂を借りて寝る。ここは有名な「弘法大師が一宿を断られ橋の下で寝た」その橋。その由来から遍路は「橋を渡る時に、絶対に杖を突いてはいけない」の教え。2600 円使う。**6/3-23 日目**大洲～内子～久万高原町。体力のあらん限りに歩いて山を越え、標高 500m の高原の町「久万高原町」へ。二日かかる所を一日で歩いた。故郷久万高原町は宿泊でと決めてたのでレストランで夕食し、ホテルに泊まる。体重測ったら 54.8kg しか無い。なんと 12kg 軽くなっていた。6000 円使う。**6/4-24 日目**打ち戻り（往復）札所のため知恵絞る。近くの 44 番が開く時刻を待つロス時間節約のため、先に遠くの 45 番海岸山岩屋寺を、戻って 44 番を。幼少時に兄と遊んだ古岩屋は 4 千万年前の大河の扇状地に堆積した数百 m の砂岩が露出した景勝地。岩屋寺は子供の頃から何回も行った懐かしいお寺で、再建用銅板 3000 円を寄進する。痩せてズボンが下がって歩けないのでベルトを買う。次の札所へは通常宿泊すべき所を、710m の御坂峠を越えてガンガン飛ぶように歩き、お参りしながら驚異的にも夕方には松山市鷹ノ子町の姪（兄の長女）宅へ。1236 円使う。**6/5-25 日目**青春時代を過ごした思い出の石手寺や道後温泉本館など通過して松山市内を大量 6 寺回り昼過ぎに打ち止め。泉州労山の川上さんが来月講演する愛媛大学の写真をメールする。久しぶりに祖父母、両親、兄夫婦の眠る管家のお墓参りを。たくさんのお経を目いっぱいあげた。今夜も姪宅に泊。

- 知る人ぞ知る道後温泉本館裏面の
入母屋造り銅瓦「天皇家専用温泉」。
- 次回は松山～今治～西条～香川県へ
御接待と汗と涙の巡礼は続く。

